

今年『大阪大学中之島センター』で対面で開催いたします！

第35回エラストマー討論会のご案内と研究発表募集

会 期：2024年12月3日（火）・4日（水）

会 場：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4丁目3-53）

協賛団体：日本化学会 高分子学会 日本材料学会 日本複合材料学会 繊維学会 日本接着学会 日本レオロジー学会
(予定) マテリアルライフ学会 プラスチック成形加工学会 日本トライボロジー学会（順不同）

エラストマー材料の合成、構造、物性から応用に至るまでいろいろなことが明らかになってきました。今こそ、エラストマー関連の科学者や技術者が一同に会して議論する時です。エラストマー討論会はその最高の場を提供します。ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに興味を持つ人、好きな人、利用したい人、売りたい人、考え方を聞いて欲しい人、聞きたい人、化学屋さん、物理屋さん、機械屋さん、電気屋さん、あらゆる方々のご参集をお待ちしております。

研究発表は従来どおり口頭発表とポスター発表といたします。開催は対面式で実施し、これまでと同様にトピックテーマによる討論の場や英語セッションも設けます。なお、これまでと同様に若手発表の部（申込時35歳以下）を設け、優れた若手発表とポスター発表には優秀発表賞を授与いたします。また、最も優れた研究発表に贈られるCERI最優秀発表論文賞も引き続き授与されます。

研究発表は、より有意義な討論を目指す目的で、以下の発表形式といたします。

多数のご発表をお待ちしております。

1. 研究発表は口頭発表（若手・一般）とポスター発表（共通）の両形式で行います。

発表言語は英語または日本語とします。

2. 発表内容はゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関するものであれば構いません。また、既発表のものを含んでも差し支えありませんが、十分に討論する価値のあることが必要です。

3. 発表テーマの選択について

今回の一般発表は、以下の2つの方法で行います。

1) 従来どおりの方法での発表

以下の①～⑱から適切なテーマをお選びください。

①合成・重合、②構造、③物性、④分析法・解析評価法、⑤新材料、⑥ナノテクノロジー、⑦シミュレーション、⑧熱可塑性エラストマー、⑨配合、⑩練り、⑪成形加工、⑫接着・粘着、⑬金型、⑭劣化・寿命・信頼性、⑮トライボロジー、⑯リサイクル・グリーンケミストリー、⑰衛生・アレルギー・ヘルスケア、⑱エネルギー関連、⑲その他

2) トピックテーマでの発表

上記の一般発表とは別に「ゴム業界の将来」「サーキュラーエコノミー」「放射光利用技術」を設け、これらのテーマに特化した討論を行います。

このセッションでの発表を希望される際、申込時にその旨ご記入ください。

※この発表セッションは一般発表のみとなります。

（若手発表は上記「1)従来どおりの方法」のテーマからお選びください）。

※「1)従来どおりの方法」でお申込みいただいた一般発表でも「2)トピックテーマ」発表に変更させていただくこと、およびその逆の変更がございますことをご了承ください。

3) 英語セッションでの発表

今回も「英語セッション」を設置いたします。

英語でご発表される方は、このセッションを選択ください。

4. 口頭発表の時間は1件あたり20分（発表14分、討論5分、交代1分）の予定です。関連ある継続発表を希望する際は、その順序を①、②とご記入ください（若手と一般を継続することはできません）。

5. 発表者は日本ゴム協会会員（正会員・学生会員）であることが必要です。

研究発表の申込み要領

2024年8月30日（金）までにHP（<https://www.srij.or.jp>）からお申込みください。

発表申込み受理

- 発表申込みの採否およびプログラム編成はエラストマー討論会運営委員会にご一任ください。
- 申込みを受理されたものについては、予稿原稿の書き方を申込者あてにお知らせいたします。

予稿原稿

- 予稿原稿の枚数はA4判2枚です（英文アブストラクト（約150words）を含みます）。また、ポスター発表の予稿原稿はA4判1枚で英文アブストラクトは不要です。
- 予稿原稿提出はメール添付PDFのみとします。
- 予稿原稿締切 9月27日（金）事務局必着

ミキサー 第1日目の夕刻に、参加者の交流の場としてミキサーを開催いたします。活発な討論後の憩いの場となりますので、多数の参加をお待ちしております。

※当日申込みはございません。

参加費：一般（シニアを含む）7,000円

学生3,000円

名誉会員とシルバー会員の方はご招待ですが、お申込みが必要となります。

参加登録 HPの登録フォーム（9月掲載予定）からお申込みください。早期登録の期限は10月25日（金）となりますのでお早めにお申込みください。

登録費

正会員 10,000円（10/25まで）（10/26以降）15,000円

シニア 5,000円（10/25まで）（10/26以降）7,500円

学生会員 4,000円（10/25まで）（10/26以降）5,000円

会員外 17,500円（10/25まで）（10/26以降）24,000円

※会員は不課税、会員外は課税となります。

名誉会員の方の登録費はご不要ですが、ご登録が必要となります。

賛助会員は2名まで正会員扱いといたします。

シニアは60歳以上の正会員（シルバーを含む）でご本人に限ります。

※研究発表者の方も参加登録が必要です。

送金先

郵便振替「00190-1-48393」

みずほ銀行 虎ノ門支店（普）No.1228682

口座名：一般社団法人日本ゴム協会

※送金手数料は参加者側でご負担ください。

連絡先

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル

一般社団法人日本ゴム協会 エラストマー討論会係

TEL：03-3401-2957

E-mail：elastomerdebate@srij.or.jp

<https://www.srij.or.jp/>

第35回エラストマー討論会トピックテーマについて

第35回エラストマー討論会はトピックテーマとして「ゴム業界の将来」、「サーキュラーエコノミー」と「放射光利用技術」の3テーマを設けました。今後のゴム業界の将来を担うような技術、そして持続可能な形で資源を利用する循環経済を支えるための技術、また、新しい未来を拓くための放射光利用技術について、本テーマに関わる基礎から応用技術まで幅広く活発な議論が行われることを期待しています。本テーマの設定意図は以下のとおりです。会員各位の多数のご発表をお待ちしております。

「ゴム業界の将来」

近年、自動車の電動化によるゴム部品点数の変化などゴム業界にとっては大きな転換期を迎えております。変わらないゴム部品もあれば、新たなゴム部品の可能性もあります。そしてEV車やFCV車が量産化されることで生まれる新たな技術革新が素材、機能、技術にどのような変化を与え、進化していくのかが注目されます。また、自動車以外の産業でも多く使用されるゴムの技術革新の可能性などゴム業界の将来に光を灯すような発表を期待しております。多数のご発表、ご聴講、活発なご討論をお願いいたします。

「サーキュラーエコノミー」

政府は2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラルを宣言しました。このカーボンニュートラル社会の実現は再生可能エネルギーだけでは達成できず、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」を支えるためのサーキュラーエコノミーの技術が必要とされています。ゴム業界においてもこのサーキュラーエコノミーにまつわる取組み、技術が注目されていますので、多数のご発表、ご聴講、活発なご討論をお願いいたします。

「放射光利用技術」

1997年にSPring-8が世界最高性能の大型放射光施設として国内外に提供され始めてから非常に多くの研究がなされてきました。そして2024年に提供が始まった次世代放射光施設であるNanoTerasuでさらにさまざまな研究が進むものと期待されています。

SPring-8が硬X線向け（構造がわかる）の施設であるのに対し、NanoTerasuは世界的に日本が遅れていた軟X線向け（機能がわかる）の施設で現在注目を浴びています。このような放射光を使ったゴム、エラストマーでの研究成果も増えてきており、将来を拓く技術の一つとなってきておりますので、多数のご発表、ご聴講、活発なご討論をお願いいたします。